

外国の所属機関による証明書

（団体監理型技能実習）

技能実習生（候補者を含む。）について、下記の事項を証明します。

記

①技能実習生の氏名 ※ 複数名について記載する場合には適宜欄を追加すること。記載しきれない場合には、別紙に記載することも可とし、当欄には「別紙のとおり」と記載すること。		ローマ字	TEI HEIOTU
		漢字	
		ローマ字	BOKI KOU
		漢字	
		ローマ字	SHIN JINKI
		漢字	
②技能実習生の所属	所属事業所名	〇〇公司	
	所属部署名	××	
	職種	惣菜加工	
③技能実習の実施の経緯	<input type="checkbox"/> 所属機関からの推薦 （推薦理由： <input checked="" type="checkbox"/> 技能実習生からの希望 <input type="checkbox"/> その他（ ）		
④技能実習の期間中の処遇	<input type="checkbox"/> 技能実習生との関係を継続（「現職にとどめる」、「休職とする」など） <input checked="" type="checkbox"/> 退職 <input type="checkbox"/> その他（ ）		
⑤技能実習の終了後の措置予定	<input type="checkbox"/> 復職（事業所： 、部署： 、職種： ） <input checked="" type="checkbox"/> 復職予定なし <input type="checkbox"/> 未定		

●注記にかかわらず、漢字の氏名を省略し、ローマ字の氏名のみを記載しても差し支えありません。

●必ずしも、④で「技能実習生との関係を継続」が、⑤で「復職」が、選択されなければならない訳ではありません。
 ただし、これら以外を選択した場合には、「帰国後に技能実習生が修得等した技能等を適切に活用できるよう、取次送出機関が就職先のあつせんその他の必要な支援を行うこと」とされている点にご留意ください。

（注意）

- 1 ①は、ローマ字で旅券（未発給の場合、発給申請において用いるもの）と同一の氏名を記載するほか、漢字の氏名がある場合にはローマ字の氏名と併せて、漢字の氏名も記載すること。
- 2 ③は、所属機関からの推薦である場合には、その推薦理由を記載すること。
- 3 個人農業者や家族経営の事業に従事していた者等の場合は、地方政府、業界団体等による証明でも差し支えない。
 上記の記載内容は、事実と相違ありません。また、団体監理型技能実習の準備に関し、技能実習に関する法令に違反することは、決していたしません。

20××年 〇〇月 〇〇日 作成

外国の所属機関の名称 〇〇公司

作成責任者 役職・氏名 総経理 △△△